

第102回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年12月21日(火) 12:40~12:51	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、加藤総務部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、柿崎環境部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、梅原企画政策課長、水落財政課長、廣田広報秘書課長、堤新型コロナウイルス感染症対策担当課長、宮奈地域安全課長			
付議事項	1 第4回定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について 2 新型コロナウイルス感染症への対応について 3 各部連絡事項			
資料	令和3年第4回小金井市議会定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について			
(進行：福祉保健部長) (市長) ・新型コロナウイルスの感染状況は、帰国者を中心にオミクロン株が広がりつつあり、濃厚接触者も増加している。沖縄県では在日アメリカ軍関係者で100人以上のクラスターが発生しており、アメリカ軍基地に勤務する日本人スタッフのオミクロン株感染も確認されている。 ・市内の感染状況は、11月5日以降、11月中に1人出たほかゼロが続いているが、専門家の中には第6波、オミクロン株の流行に懸念を示す人もいる。専門家からは年末年始が重要であるとの指摘もあり、基本的な感染対策が重要と考えている。 ・新型コロナウイルスワクチン3回目接種について、本市でも年明けから医療機関、高齢者施設での接種をスタートさせる。医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション等と連携して、希望者に安心安全、迅速に接種できるよう取り組んでいきたい。 ・新型コロナウイルスの緊急対応方針はいったん終了し、施政方針として中長期的な視点で発信していく。				
1 第4回定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について (財政課長) ・内容については資料の通りである。問合せ等ある場合は、本日中に財政課まで連絡してほしい。				
2 新型コロナウイルス感染症への対応について (新型コロナウイルス感染症担当課長) ・市内ではオミクロン株の感染はないが、予断の許さない状況にある。 ・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種は、12月20日時点で82名が接種しており、保健センターでも15名が接種済みである。				

- ・接種間隔について、当初8か月以上の間隔を空けることとされていたが、医療従事者は6か月以上の間隔へ、高齢者施設は7か月以上の間隔へ、それぞれ前倒しになった。

(市長)

- ・医師会メッセージ9回目について非常に分かりやすい内容であるため、早めに発出してほしい。
- ・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種は交互接種が認められている。モデルナ製ワクチンの正しい情報発信が大切である。医師会と協力して適切なメッセージを出していきたい。
- ・3回目接種の人数も適切なタイミングで公表していきたい。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

- ・3回目接種の人数を公表していく予定である。

3 各部連絡事項

(市長)

- ・冬休みの学校の状況はどうなっているか？

(教育長)

- ・特別なことはないが、5歳～11歳の新型コロナウイルスワクチン接種について、ご家族で医療機関とよく相談してほしいという文書を発出予定である。

(総務部長)

- ・年末年始に関して「新型コロナウイルスに関する対応について」という通知の発出については理事者一任とさせていただきたいが、発出してもよいかと考えている。

(市長)

- ・1月5日からPay Payを利用した小金井地域応援キャンペーンという経済対策をスタートさせる。期間中、Pay Payを使って対象店舗で買い物をすると、支払いが鵜の最大30%のポイントが還元される仕組みである。

(新型コロナウイルス感染症担当課長)

- ・12月20日からワクチンパスポートのデジタル化がスタートしている。
- ・12月17日に新型コロナウイルスワクチン3回目接種の1月分の案内約4,000通を発送した。既に昨日、約100名から問い合わせがあった。

(以上)